

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者スポーツ普及促進					所管	教育委員会 スポーツ振興課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	64	計画事業名	障害者スポーツ普及促進			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 12 誰もがスポーツに親しむ機会の提供					[事業開始] 平成28年度		[終了予定] -年度
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕 なし						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	障害のある方ない方を問わず、広くスポーツの魅力を知ってもらうことを目的とする。 また、障害のある方ない方の相互理解が図られ、スポーツにより支えあう社会の実現を目指す。							
	事業内容 [H30年度]	多くの区民に障害者スポーツの魅力を知ってもらうため、障害の有無や体力に関わらず楽しめる障害者スポーツの体験会や初級障がい者スポーツ指導員養成講習会、障害者が参加できる継続的なスポーツ教室等を実施する。 また、東京2020パラリンピック競技大会への気運醸成を図るため、区内においてパラリンピック正式競技である「シッティングバレーボール」の全国大会を開催する。							
	委託の有無	一部委託	委託内容	障害者スポーツ体験会、障害者水泳教室・障害者水泳指導者養成講習会、障スポチャレンジ、夏パラバレーボール大会(会場設営委託等)					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	教室事業等開催数	回	12	7	9	11	10	110.0%
		開放事業開催数	回	36	-	21	20	20	100.0%
	成果指標	教室事業等参加者数	人	750	163	190	693	300	231.0%
		開放事業参加者数	人	400	-	245	248	250	99.2%
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
					2,406		3,326		4,333
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,229		2,095		5,731
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,117		2,695		4,153
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			290		631		180
		総経費			4,636		5,421		10,064
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,846		2,661		3,000		
一般財源(区負担額)			2,790		2,760		7,064		
課題及び今後の進め方	台東区スポーツ振興基本計画に掲げる目標である「障害者スポーツに関心を持つ区民の割合」を70%に引き上げるために、東京2020パラリンピック競技大会を契機に、障害者スポーツの普及促進を図る。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	障害のある方ない方の相互理解を図り、共生社会の実現を目指すため、事業の必要性は高い。						
	効率性	3	既存スポーツ事業における障害者スポーツ体験会の同時開催や、スポーツ推進委員等との連携等、効率的に事業の運営をしている。						
	手段の適切性	3	障害者スポーツに関する専門的知識を有する、協会や現役選手に企画・運営を依頼することは手段として適切である。						
	目的達成度	4	教室や体験会に予想以上の人数が参加し、障害者スポーツの普及が図られた。						
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
昨年度から新たに全国大会を開催し、参加者数を大きく増加することができた。区民の障害者スポーツに対する理解や関心を向上させ、東京2020パラリンピック競技大会の気運を醸成し、共生社会実現の契機とするため、引き続き事業を実施する必要がある。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	